

第 61 回大分県消費生活審議会 議事録

1 開催日時

令和 6 年 8 月 7 日（水） 13：30～15：00

2 開催会場

大分県庁舎本館 2 階正庁ホール

3 出席者

(1) 委員

学識経験者 石松 直美委員、亀井 正照委員、吉良 重彦委員、都甲 由紀子委員、
原田 悦子委員、古田 奈々委員
消費者 雨宮 洋子委員、石本 理砂委員、河原 伸明委員、原 理絵委員、
古代 紘子委員、水谷 トシエ委員
事業者 大塚 浩委員、大森 洋一委員、紀野 道子委員、七五三 ちあき委員
行政 山下 剛委員

(以上 17 名)

※欠席委員 高橋 洋明氏、高倉 セツ子氏、藤田 明弘氏

(2) 事務局

生活環境部 部長 島田 忠
県民生活・男女共同参画課 課長 木内 直道
〃 (ほか事務局 13 名)

4 公開、非公開の別 公開

5 傍聴人数

0 名

6 議題及び結果

(1) 会長の選任

審議会の会長に都甲 由紀子委員を選任した。

(2) 議事録署名委員の選任

議事録署名委員に石松 直美委員と河原 伸明委員を指名した。

(3) 報告

令和 5 年度 消費生活相談の概要について

(4) 議事

①「第 4 次大分県消費者基本計画」の令和 5 年度事業実績及び令和 6 年度事業計画について

②「第 5 次大分県消費者基本計画」の策定について

[主な意見・質問等]

・障がいのある子どもたちは、自身が困っていることやトラブルに遭っていることに気が付かない場合や、気が付いても相談しにくい場合がある。啓発 DVD には、「こんなトラブルがあったら、ここに相談すれば良い」と分かるような、具体的な内容を盛り込んでほしい。

・持続可能な社会の実現に向けた食品ロスやプラスチックごみ削減の問題は、消費者の努力だけではなく、企業が削減する努力を行う必要があるのではないか。自社製品のゴミ回収、量り売りや野菜のばら売りなど、売る側の責任を考えてできることを行ってほしい。

・高齢者が遭遇するトラブルは多いが、若い人にぜひ高齢者を見守ってもらい、適宜アドバイスなどしてほしい。地域での見守りが大きな課題になると思う。

・国の基本計画の骨子では、災害や感染症といった言葉が「激甚化・頻発化する国家危機の到来」に変わっているが、県の計画を策定する際には、これらの項目が県の第4次計画で十分に達成できたかどうか等を検討したうえで内容を判断してほしい。

・県の第5次計画では、地域を守るための消費行動をいう観点を盛り込んでほしい。例えば、全国チェーン店ではなく地元の店で購入するとか、自分の消費行動が地域にどのような影響を与えるかを考えられるような内容も検討してほしい。

7 会議の資料名一覧

資料 1 令和5年度消費生活相談の概要

資料 2 第4次大分県消費者基本計画における指標及び目標値の令和5年度実績

資料 3 第4次大分県消費者基本計画 令和5年度関連事業実績

資料 4 第4次大分県消費者基本計画 令和6年度関連事業計画

資料 5 第5次大分県消費者基本計画の策定について

参考資料 第4次大分県消費者基本計画（概要版）